

令和元年度事業報告

(自平成31年4月1日から至令和2年3月31日)

【概要】

実施事業（継続事業）の進捗として「ひらく・ナビ事業」の「ひらく・ナビ20」はコロナ後の就労に関する情報更新「ひらく・ナビ50」はサイト更新を行った。またひらく・ナビ展開事業とし「shoku-nin」サイトの移管先の模索をした。

調査事業は、大学生の就職活動の調査を1回7月に報告書をサイトに公開。キャリアセンターの実態調査を4月に行い、調査報告を6月にサイトUPした。

出版は「親心の出し方」の購買依頼があり在庫をやり繰りして納本を行った。

その他の事業（収益事業）はじぶん計画ダイジェスト版事業で予定されていた、「自分で動く就職」2021年版を1月に発行した。また、一昨年よりスタートした人材紹介は700万、独自の資格付与事業と更新講習事業（両方50万弱）は着実に進捗している。また平成31年12月に申請した厚生労働省認定キャリアコンサルタント更新講習の申請は年度末に厚生労働省より認可を受けて技能講習5講習を次年度より実行することとなり、前年度と合わせて7講習を予定している。

【実施事業（継続事業）】

継続1

I. ひらく・ナビ事業 目的（若年層及びベテラン（50代）層に対する情報発信）

1. 各サイトの改修・管理

「ひらく・ナビ20」サイトの中に昨年オープンした人材紹介のコーナーは、数は少ないが登録者にカウンセリングを行った。また閲覧者個別問い合わせは昨年度より頻度は減っているが、誠実に対応した。

「ひらく・ナビ50」は関連情報発信を行った。併せて雇用動向<シニア層の制度改正、厚生労働省の諮問内容等>の情報を発信した。

具体的作業は次の通り

- ・ サイト各項目のリンクチェック
- ・ サイト提示の法的解説の法律変更の確認、修正
- ・ 制度改革等、公的情報の発信

2. ひらく・ナビ20の展開

- ① 大学生就職調査結果の告知と報告
- ② キャリアセンターの実情と方向性の検証調査
- ③ 就労に関するタイムリーな記事の提供

3. ひらく・ナビ50の展開

- ① シニア向け制度改正情報や公的情報の発信

4. 「shoku-nin」サイトの移管に伴う活動

- ① サイト移管の問い合わせを2社行ったが、中々決済担当までたどり着けなかった。
- ② サイトの記事や商品に対する問い合わせが多くあった。

継続2（出版）

II じぶん計画事業 目的（20歳からの自分計画の一環とした事業を行う）

1 親心の出し方の改訂版の販売

1校<駒沢女子大学（530部）の受注。淑徳大学在庫分で処理（100部は無償）
令和2年度も1校が630部を7月納入予定<重版>

継続3（調査）

III. 調査・研究事業 目的（労働市場に関する情報提供）

- 1 大学生の就職活動に関する調査を行った。（令和元年 7月サイトUP）
- 2 大学のキャリアセンターにおける職員や大学の就職部門の取り組みなどを調査した。（令和元年6月サイトUP）

【その他事業（収益事業）】

1. じぶん計画ダイジェスト版事業

平成31年に発行した「自分で動く就職」の改訂版として「自分で動く就職2021年版」を発行した。トータル印刷部数は2500部

購入校 一覧

学習院女子大学（450部）東放学園グループ（1050部）

その他大学300部となり、残が700部となり、この後販売を行う。

2 人材紹介

平成30年にスタートした人材紹介は、マイナビ求人エンジンを使用し、年度内に入社できたのは6名となった。手数料700万の収入となった。

3 独自資格認定事業及び厚生労働省キャリアコンサルタント更新講習の申請

キャリアコンサルタントの更新講習の新規申請5講習が認可された。2講習についてが令和2年の3月に多数の受講者が集まっていたが、やむなくコロナの影響で中止となった。

令和2年度のキャリアコンサルタント更新講習は3月に認可がおりたが、コロナの影響があり、リモート対応等の技術検証に伴う、テキストの修正、変更に必要なため9月より講習を実施する予定で進捗している。